

2011年2月15日(火) 第1247回(本年度29回)例会

- 点 鐘 大塚修一君
- ロータリーソング それでこそロータリー
- 四つのテスト 木村剛君

本日のプログラム
新会員スピーチ 鹿子田正夫会員

次週のプログラム 2月22日(火)
夜の例会



会長挨拶 大塚修一君

皆様、こんにちは。
本日も雪が降りつづいておりましたが、関東でも連休から今朝まで雪が断続的に降っていたようです。

雪の影響で交通網が混乱し、転倒によるケガ人が続出し、雪に弱い都会をまた暴露した状態になっていました。会員のみな様におかれましては、車の運転や歩行時の足元に充分気をつけてほしいと思います。

雪と言えば会津地方では、家の前の除雪を「雪かたし」と言います。標準の言葉では雪かきと言うのでしょうか。雪かたしと言う言葉には、雪を荷物のような大きな物をかたづける、大事な物をていねいに、かたづけるという意味が含まれているそうです。これから春になり雪がとけて、山々や河川や大地に恵みの水として蓄えられ、おいしい水、おいしいお米、おいしいお酒、おいしい農作物となって、豊かな会津の源になっていることを考えると、本当に大事な物と思えますし、雪かたしもありがたく感じています。

ですが、今年の雪は、もうたくさんです。ちなみに、新潟の山間部では、雪ほりと言うそうです。そうとう雪深いことがわかります。各地方の言葉は本当におもしろいですね。

話は変わりますが、我社で携わっているお仕事の話させていただきます。

大沼郡柳津町の地熱発電所のある西山温泉よりもっと奥深く雪深い所に、琵琶首という集落があります。

何か由来がありそうな琵琶首という集落名や住民の方々のほとんどが鈴木さんという不思議な集落です。

その琵琶首集落内を通る県道は、幅が4メートル程しかなく、場所によっては、自動車の擦れ違いができず、特に冬期間の火災時や怪我人、病人が出た時の緊急車両が入れない場合もある、不安な道路事情です。また、昨年 金山町の国道400号が落石の影響で、通行止になった時の唯一のうかい路だったり、昭和村と会津美里町を結ぶ国道401号の博士峠が冬期間の通行止になった時の重要な生活道路です。当初計画より40年余りたった、今年度悲願のバイパス工事着工の為の地権者合同調印式が2月11日に行なわれました。当社では、30年前から調査設計に携わっておりましたので、住民の皆さんの喜びがひしひしとつたわってまいりました。まだまだ、日本国中に、このような集落が多く残っています。地方は、交通量がないから、道路整備は必要ないと言う発想は、やめてもらいたいですね。

ちなみに野澤エレクトの生まれ育ったご実家はその琵琶首集落よりさらに奥へ20分程いった所ですが交通の便はもっと良い所です。

最後になりますが、来週2月22日夜の例会は、加藤先生のおとりはからいで、福島ロータリークラブ様よりNTT福島支社長様とNTT会津支社長様が例会に出席していただけます。会場は黄鶴楼様となっておりますので多くの会員の皆様に参加していただきたいと思っております。木村親睦委員長はじめ、親睦委員会の皆様、よろしく願いいたします。

本日の会長あいさつは、以上でおわらせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告 渡部伸久君



- 1 2010～11年度 RI 表彰各賞推薦のお願い状(受)(ガバナー事務所)
- 2 大塚会長へ講話の依頼状(受)(喜多方 RC)
日時: 3月29日(火) PM12:30
場所: 喜多方商工会議所
- 3 ロータリー手帳注文状(受)
一部 ¥630 (ロータリーの友事務所)

委員会報告

出席委員会

黒澤 功 委員長

出席	欠席	出席率	前回出席率訂正
24名	12名	24/36=66.66%	80.06%

ニコニコBOX

手代木 和之 副委員長

大塚君 皆様今日は。先週のカバナー訪問ありがとうございました。

小池君 会津児童園へのダテハヤトありがとうございました。

加藤君（福島 RC）皆様にお会いできて感謝します。次回夜の例会に渋谷会員をよろしく願います。

野澤君 鹿子田さんスピーチよろしく願います。

黒澤君 本日もお世話様になります。

湯田（和）君 鹿子田さんスピーチ楽しみです。大分中央 RC30周年式典にご参加の5名の皆様気を付けていってらっしゃい。

R財団BOX

小野木 國一 S. A. A

小池君 3月末までなかなか出席できず申し訳ありません。

野澤君 今週は大分中央 RC に行ってきます。

大塚君 皆様今日は。来週は黄鶴楼での夜の例会よろしくです。

米山奨学金BOX

小野木 國一 S. A. A

野澤君 がんばれ大相撲！！

小池君 がんばれノブくん！！

大塚君 皆様こんにちは。今週末に大分中央 RC の30周年記念式典に出席してまいります。

会員スピーチ 鹿子田正夫君



【私のストーリー】父が保証人となり、幼少児より苦しい生活をしてきました。中3で父が倒れて以来、昼間は勉強して夜は働くという生活。高校へは通わず叔父の綿屋（ふとん屋）で丁稚をさせてもらい、23歳まで働きました。靴下の大きな工場が若松に来るといので、そこに転職して、現在の妻と出会い27歳で結婚。

28歳のとき一つの転換期がありました。小中学校の同級だった若林くんに紹介、説得される形で仏壇の外商を始めることになりました。仏壇の保志では、多くのことを学びました。40歳まで着実に営業の成果を積み重ね、40歳のとき妻子供に応援される形で独立を致しました。

それ以来、現在に至るまで26年間お客様を大切に商売してきました。「受けて忘れず、与えて思わず」が座右の銘です。「親切、奉仕、感謝」の心で「三心堂」。お陰さまでクチコミで仕事を頂いております。

当時、学生の頃は、皆が学校に通っているなか、働くことを知られるのが恥ずかしくてたまりませんでした。「何くそ負けてなるものか」。の一念で頑張ってきました。本日のような贅沢な昼食は食べられませんでした。妻子供に支えられてここまでやられました。今は、息子二人に後継ぎをさせているところです。

大橋ガバナーより



スピーチに一同感動

